PRESS RELEASE

国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

2024 年 12 月 11 日

報道機関　各位

第 99 回　海洋教育フォーラム
『海洋空間計画と浮体式洋上風力への期待』

長崎大学は、産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（IACOW）の代表機関として、産学連携を通じた洋上風力分野での人材育成に取り組んでいます。

今回、本学が主催する海洋教育フォーラムでは『海洋空間計画と浮体式洋上風力への期待』と題し、洋上風力発電と漁業との共生に関する国内外の最新の知見について講演を行うとともに、将来を担う大学生と会場の参加者による意見交換の場も設けます。

【総合討論のテーマ】

- ○　海のポテンシャルをどうすれば社会の価値にしていくことができるか
- ○　洋上風力の沖合展開を実現には、何が必要か
- ○　若者の海洋への理解増進

　　など

脱炭素社会の実現は、地域の競争力に大きな影響を与える重要なテーマです。その中で、再生可能エネルギーの切り札とされる洋上風力発電の拡大は、広い海域を有する長崎県にとって、極めて高いポテンシャルを秘めています。

本フォーラムでは、脱炭素社会を実現するために、どうすれば海を多角的に活用できるのか、次世代の未来を見据えて考えていきます。参加登録の締切は 12 月 20 日（金）となります。幅広い参加を求める告知をお願いすると同時に、当日は、将来を担う若い学生たちによる熱い討論の模様を、是非、取材いただければ幸いです。

【概要】

日　　時　：　12 月 22 日（日）開場 12 時 30 分
　　開会 13 時 00 分～閉会 17 時 40 分
場　　所　：　出島メッセ長崎　2 階　コンベンションホール
プログラム　：　https://nagasaki-kaiyou.com/
参 加 方 法　：　会場参加またはオンライン参加
参　加　費　：　無料
参 加 申 込　：　https://forms.office.com/r/bsy3nPEcht

【昨年の海洋教育フォーラムの様子】

上）総合討論：
会場との意見交換も。

左）会場の様子：講演

【参考】

・産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（IACOW）の概要
https://iacow-education.jp/

・関連プレスリリース（2024 年 12 月 4 日付け）
洋上風力発電事業を主導する人材の育成のための「しくみとカリキュラム」を策定へ
7 地方大学と 10 発電事業者が産学のコンソーシアムを形成し、洋上風力発電分野の大学における人材育成体制の整備を目指す。

https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/guidance/kouhou/press/pdf/674file120241204161434.pdf

【本リリースに関するお問い合わせ先】
長崎大学 海洋未来イノベーション機構　伊藤
TEL：095-800-4135　　E-mail：oicn@ml.nagasaki-u.ac.jp

もっと海を知ったら、もっと広い未来が描けるはず。

第99回 海洋教育フォーラム

開催テーマ ｜ **海洋空間計画と浮体式洋上風力への期待**

参加無料

2024 12.22 SUN 13:00-17:40

会 場 出島メッセ長崎2階コンベンションホール
（長崎市尾上町4-1 JR長崎駅隣接）

オンライン同時配信の申込も受付中！

参加・オンライン視聴の申込はコチラから
（オンデマンド配信のお知らせメール予約）

「逆にアリ」かも。

「日本は島国です」と耳にしたことがあるでしょう。
世界のなかでみると、日本の国土面積は第61位、
でも、海に目を向けると、
排他的経済水域（EEZ）※1まで含めた海は、
ぐーんと第6位※2に浮上します。

どうでしょう？日本の海って広いんです。
小さな島国、でも見方を変えれば、
広くて大きな海の国。

脱炭素、再生可能エネルギー、
SDGs、時代のキーワードとともに、
洋々と広がる海の未来を、
あなたが拓いていくというのもアリ。

※1 排他的経済水域（Exclusive Economic Zone）とは、国連海洋法条約に定められた領海の基線から200海里（1海里は1,852m）を超えない範囲で設定される水域で、その沿岸国は、EEZの天然資源の探査や、開発、保全及び管理に関する権利や人工島、施設及び構築物の設置及び利用、海洋環境の保護及び保全、海洋の科学的調査等に関する管轄権を持っています。

※2 海外領土を除く。海外領土を含める場合は、世界第8位。

[主催]
産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（長崎大学、秋田大学、秋田県立大学、北九州市立大学、千葉大学、新潟大学、国際教養大学、三菱商事洋上風力、JERA、東京電力リニューアブルパワー、九電みらいエナジー、中部電力、ENEOSリニューアブル・エナジー、RWE、東北電力、住友商事、COP）、日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会 海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会、長崎大学研究開発推進機構・長崎オープンイノベーション拠点／長崎大学海洋未来イノベーション機構、長崎総合科学大学 海洋エネルギー研究センター、株式会社ながさきMICE

※法人格表記省略

第99回 海洋教育フォーラム

開催テーマ

海洋空間計画と浮体式洋上風力への期待

今回は、わが国における海洋空間計画の第一人者で、ユネスコ 政府間海洋学委員会（IOC）議長を務める道田豊先生と元水産庁長官で洋上風力の沖合展開と漁業との関係について貴重なご提言をいただいている長谷成人様を長崎にお迎えします。気候危機の時代に差しかかる世界の状況の中、海のポテンシャルをどうすれば社会の価値にしていくことができるか。また、脱炭素社会を切り拓く上での鍵となる洋上風力の沖合展開を実現するには、何が必要なのか。ご来場いただく皆様とともに考えていきたいと思います。

PROGRAM プログラム

13:00	開会あいさつ
13:05	主催者あいさつ・活動紹介
13:25	基調講演❶
14:10	基調講演❷
	休憩15分
15:10	講演❶
15:40	講演❷
	休憩10分
16:20	総合討論
17:35	閉会あいさつ

［主催］
産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（長崎大学、秋田大学、秋田県立大学、北九州市立大学、千葉大学、新潟大学、国際教養大学、三菱商事洋上風力、JERA、東京電力リニューアブルパワー、九電みらいエナジー、中部電力、ENEOSリニューアブル・エナジー、RWE、東北電力、住友商事、COP）、日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会 海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会、長崎大学研究開発推進機構・長崎オープンイノベーション拠点／長崎大学海洋未来イノベーション機構、長崎総合科学大学 海洋エネルギー研究センター、株式会社ながさきMICE

［後援］
長崎県、長崎県教育庁、長崎海洋産業クラスター形成推進協議会（長崎海洋アカデミー）、佐世保工業高等専門学校、日本海洋政策学会

［協力］
日本海事協会、エンジニアリング協会、
WFO（World Forum Offshore Wind）、Carbon Trust

※法人格表記省略

基調講演1

海洋空間計画について

ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）議長
東京大学総長特使　道田 豊

道田 豊

基調講演2

浮体式洋上風力と沖合漁業の協調の道を探る

（一財）東京水産振興会理事 海洋水産技術協議会代表・議長 元水産庁長官　長谷 成人

長谷 成人

講演1

洋上風力発電と漁業の共存：海外の研究動向と日本における課題

長崎大学名誉教授　中田 英昭

中田 英昭

講演2

洋上風力開発における漁業共生と地域振興の進め方

長崎大学水産・環境科学総合研究科教授
清田 雅史

清田 雅史

総合討論

若い世代の浮体式洋上風力への期待

［ファシリテーター］長崎大学研究開発推進機構 機構長特別補佐
長崎県産業振興財団プログラムオフィサー
産学連携洋上風力人材コンソーシアム副代表
日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会
海洋教育フォーラム長崎地区実行委員長

森田 孝明

産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム

＊海洋教育フォーラム開催については順次HPで情報を掲載していきます。
ホームページ：https://iacow-education.jp/

＊この件に関するお問い合わせは 産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム（IACOW）事務局
E-mail:oicn@ml.nagasaki-u.ac.jp　Tel. 095-800-4135